



2021年9月期第3四半期決算概要

(2020年10月1日～2021年6月30日)

シミックホールディングス株式会社

2021年7月30日

事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2021年6月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミック・シフトゼロ(株) CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC ASIA-PACIFIC (PHILIPPINES), INC. CMIC ASIA-PACIFIC (AUSTRALIA) PTY LTD CMIC ASIA-PACIFIC (THAI LAND) LIMITED CMIC ASIA-PACIFIC (VIETNAM) COMPANY LIMITED CMIC (Beijing) Co., Ltd. CMIC DATA SCIENCE VIETNAM COMPANY LIMITED シミックファーマサイエンス(株) CMIC, INC.
CDMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックCMO(株) シミックCMO西根(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックバイオ(株)
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株)
ヘルスケア事業	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケアサービスなど、主に医療機関、患者や生活者の医療や健康維持・増進のための支援業務並びにBPO・人材サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミックヘルスケア・インスティテュート(株) シミックソリューションズ(株) シミックウエル(株)
IPM事業	グループが保有する製造販売業等の許認可（知的財産）とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬企業等に提供する事業	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) (株)オーファンパシフィック



✓ “中期計画（FY2019-2021）” 重点取組事項

- ◆PVCモデルに加え、製造販売業の許認可を組み合わせたIPMソリューションビジネスの加速
- ◆エリア競争力強化とグローバル化促進
- ◆ヘルスケアビジネスの創出

✓ “Healthcare Revolution 2.0”（2020年7月～）

- ◆医薬品を中心としたビジネスモデルから、新たなヘルスケアビジネスを創出するモデルへの転換
- ◆個人の健康維持・健康増進に貢献するビジネスの創出
- ◆グループ人材のヘルスケア分野への展開を促進



✓ COVID-19対策への貢献

- ◆ 自治体のコロナワクチン接種支援の本格展開（集団接種、巡回接種）と職域接種準備
 - ・ 新型コロナワクチン接種情報管理システム 「harmoワクチンケアwithコロナ」の活用
 - ・ コールセンター（副反応相談対応）、人的支援（医師・看護師紹介、運営スタッフ）
- ◆ 世田谷区の介護事業所等を対象とした社会的検査をはじめ自治体のPCR検査業務受託
- ◆ 臨床試験や市販後調査、臨床研究支援、COVID-19向け医薬品製造受託
 - ・ コロナ禍での円滑な治験促進に向け、新型コロナ感染症の治験参加患者向け専用移動サービスを開始





✓ 個人の健康維持に貢献するビジネスの創出

- ◆ 東京都の「次世代ウェルネスソリューションの構築事業（事業化促進プロジェクト）」に harmo[®]事業が採択
- ◆ 国際医療福祉大学・高邦会グループ主催のヘルスケアオープンイノベーションに参画
未病予防サービスの展開とデータ利活用によるパーソナライズドヘルスケアサービス創出へ
- ◆ MONETと、医療MaaS（Mobility as a Service）に特化した事業開発プログラム「MONET LABO『医療』」開始

* MONET：ソフトバンク(株)、トヨタ自動車(株)等の共同出資会社



✓ 医薬品・医療機器開発のスピード化・効率化促進

◆ニューノーマル時代の新たな治験様式の提案（デジタル活用）

- ・臨床試験でのharmo[®]活用の実証実験を進行中
- ・デジタルセラピューティクス対象の臨床試験支援サービス開始
- ・AI医療機器の臨床試験の開発支援

◆シミック、国立がん研究センターと血液がんに関する共同研究契約を締結 難治性白血病など遺伝子変異情報の活用事業を推進

◆連続生産設備導入により、治験薬から商用生産に至るスケールアップが不要となり、 開発のスピード化とコスト削減に貢献（2021年5月稼働）



✓ IPMソリューションの進展

- ◆ オーフアンパシフィックが遺伝性血管性浮腫（HAE）発作抑制薬「オラデオカプセル 150mg」の日本国内における製造販売承認を取得（2021年1月22日）、薬価収載（4月21日）
—BioCryst Pharmaceuticals, Inc.が国内開発を実施、鳥居薬品が4月23日販売開始—
- ◆ Grifols Therapeutics, LLCが「リンスパッド™点滴静注用 1000mg」の日本国内における外国特例承認を取得（2021年1月22日）、薬価収載（4月21日）
—オーファンパシフィックが、選任製造販売業者として承認取得を支援、7月27日販売開始—



✓ 経営体制の変更（2021年4月）

- ◆ 事業環境の変化に対し、より迅速に対応を図るため、コーポレートハブ機能の強化とグループバックオフィス機能のグループ会社への移管を実施
- ◆ 執行役員制度の廃止

✓ シミックグループ、「ヘルスケアプロフェッショナル認定制度」を開始

- ◆ 大きく変化するヘルスケア市場に対し、柔軟に対応可能な人財育成に注力
- ◆ グループのヘルスケア人材をコロナワクチン接種等に派遣



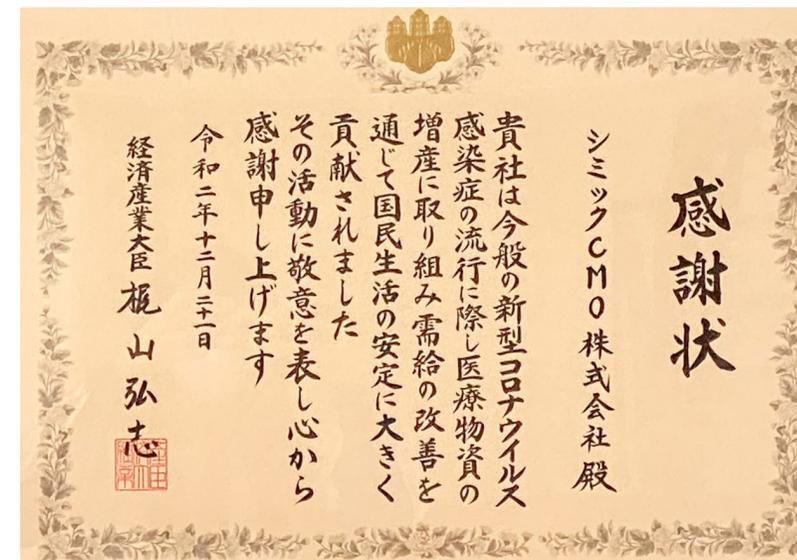
✓ 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) に関する国際規格取得

◆ ISMSに関する国際規格「JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013)」を取得、継続的な情報セキュリティの強化や適切な運用実施



認証規格	JIS Q 27001:2014(ISO/IEC 27001:2013)
登録番号	JUSE-IR-470
認証取得事業者	シミックホールディングス株式会社 ICT部 シミック株式会社 データサイエンス事業本部 シミック株式会社 PMS事業本部
登録日	2020年11月27日

✓ シミックCMO、コロナ禍での医療物資増産に貢献した企業として経済産業省より感謝状受領



連結損益計算書（要約）



	2020/Q3		2021/Q3		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	56,736	100.0	59,146	100.0	2,409	+4.2
営業利益	3,137	5.5	3,571	6.0	433	+13.8
経常利益	3,486	6.1	3,733	6.3	247	+7.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,373	4.2	1,943	3.3	△429	△18.1
1株当たり 四半期純利益	131円26銭		107円44銭			

営業外損益・特別損益・税金費用・非支配株主損益の内訳



			(百万円)	
	2020/Q3	2021/Q3	2020/Q3	2021/Q3
営業外収益内訳	519	329	特別利益内訳	46
受取利息	3	1	固定資産売却益	5
為替差益	—	146	投資有価証券売却益	10
持分法による投資利益	401	20	関係会社株式売却益	30
助成金収入	33	94	債務免除益	—
その他	81	66		117
			特別損失内訳	75
営業外費用内訳	170	166	固定資産除却損	75
支払利息	89	99	投資有価証券評価損	—
為替差損	45	—		39
その他	35	67	法人税等	877
				1,626
			非支配株主に帰属する四半期純損益	205
				203

セグメント別売上高および営業利益



		2020/Q3 (百万円)	2021/Q3 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	25,605	25,777	172	+0.7
	営業利益	4,288	3,872	△416	△9.7
C D M O 事業	売上高	15,199	15,617	418	+2.8
	営業利益	15	163	148	+946.6
C S O 事業	売上高	6,516	6,600	83	+1.3
	営業利益	768	788	20	+2.7
ヘルスケア事業	売上高	7,463	9,323	1,859	+24.9
	営業利益	586	1,142	556	+94.9
I P M 事業	売上高	2,564	2,453	△110	△4.3
	営業利益	121	152	30	+25.2
調 整 額	売上高	△612	△625	△12	-
	営業利益	△2,642	△2,548	94	-
合 計	売上高	56,736	59,146	2,409	+4.2
	営業利益	3,137	3,571	433	+13.8

受注高・受注残高



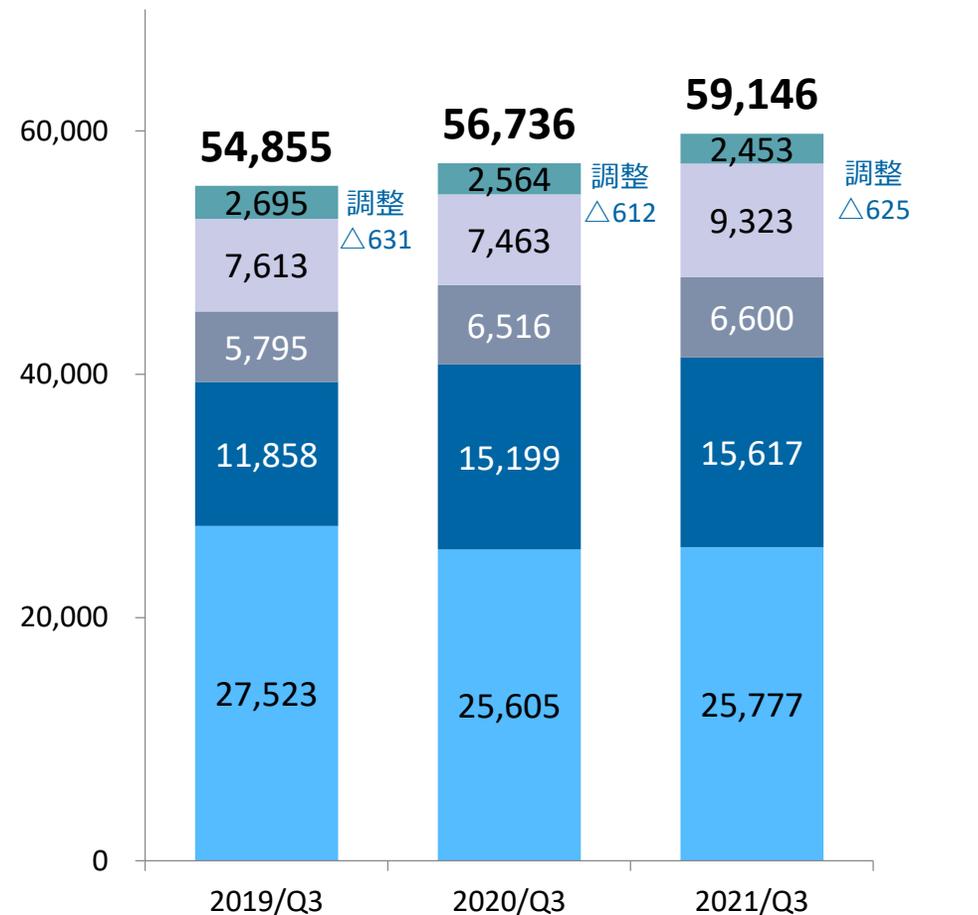
	2020/Q3		2021/Q3			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	25,310	53,552	29,068	+14.8	60,115	+12.3
C D M O 事業	15,576	5,728	15,586	+0.1	5,461	△4.7
C S O 事業	6,298	3,805	7,813	+24.0	4,345	+14.2
ヘルスケア事業	7,369	11,458	15,183	+106.0	18,045	+57.5
合計	54,555	74,544	67,651	+24.0	87,968	+18.0

- ・受注高は、ヘルスケア事業、CSO事業など各事業が増加し、前年同期比24.0%増加。
- ・受注残高は、前年同期比18.0%増加。
- ・CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。・IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注実績から除外している。

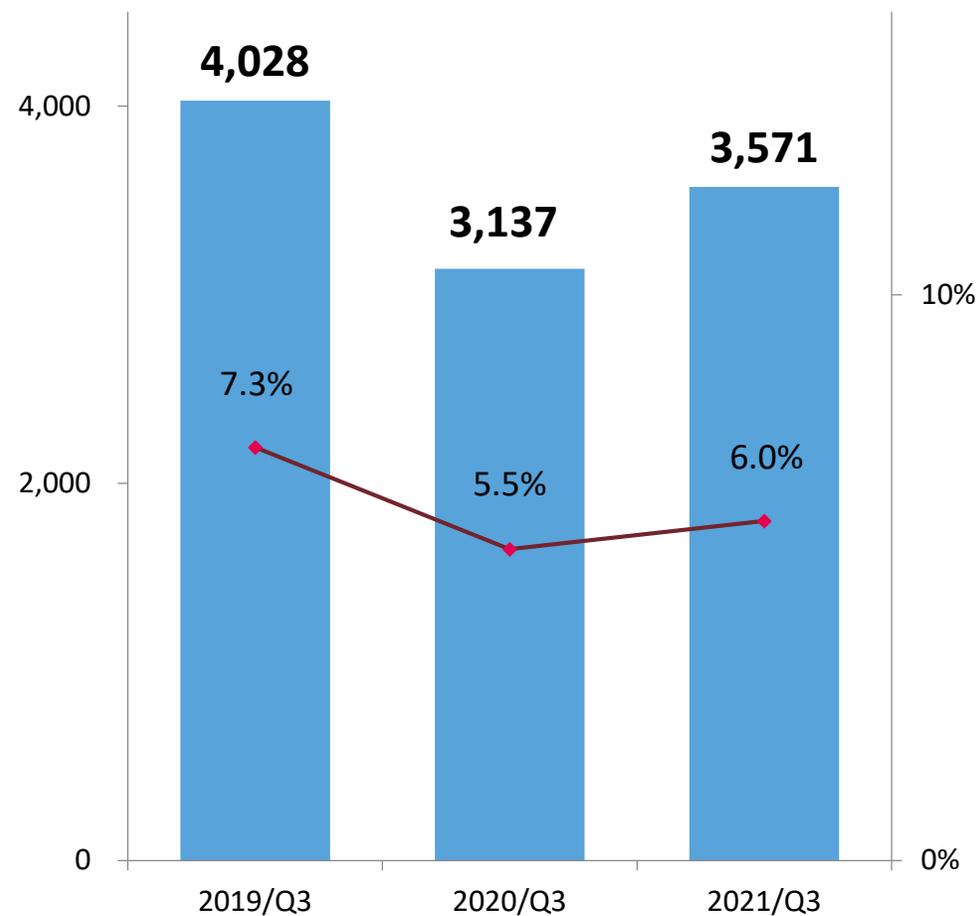
連結売上高および営業利益の推移



【売上高 (百万円)】



【営業利益 (百万円)】



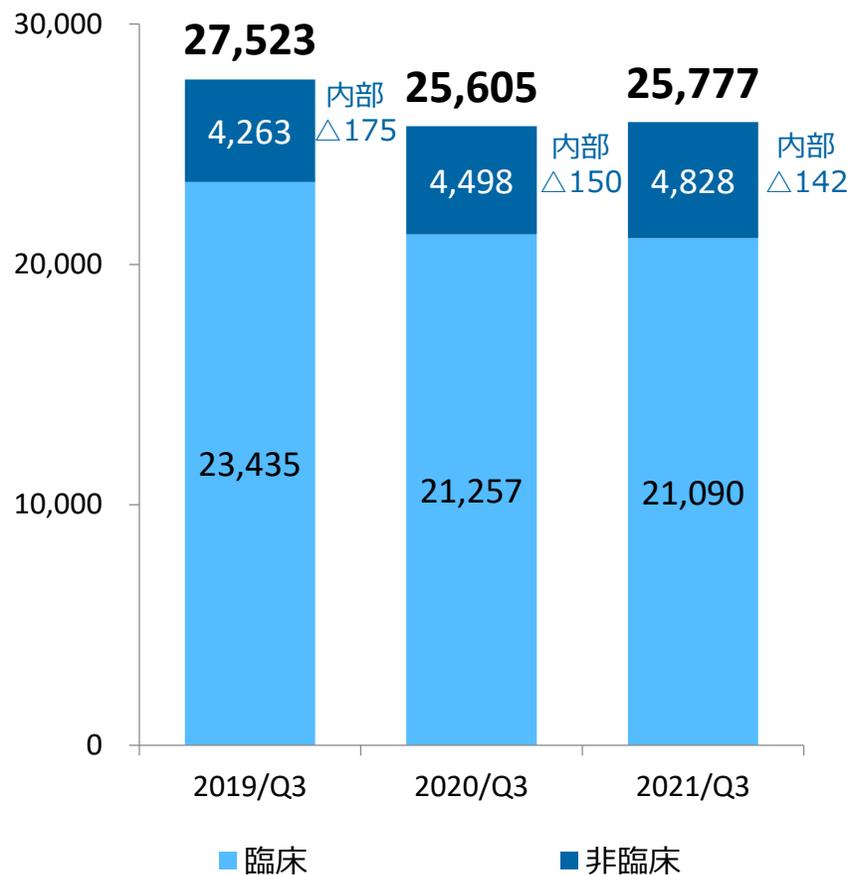
■ CRO事業 ■ CDMO事業 ■ CSO事業 ■ ヘルスケア事業 ■ IPM事業

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

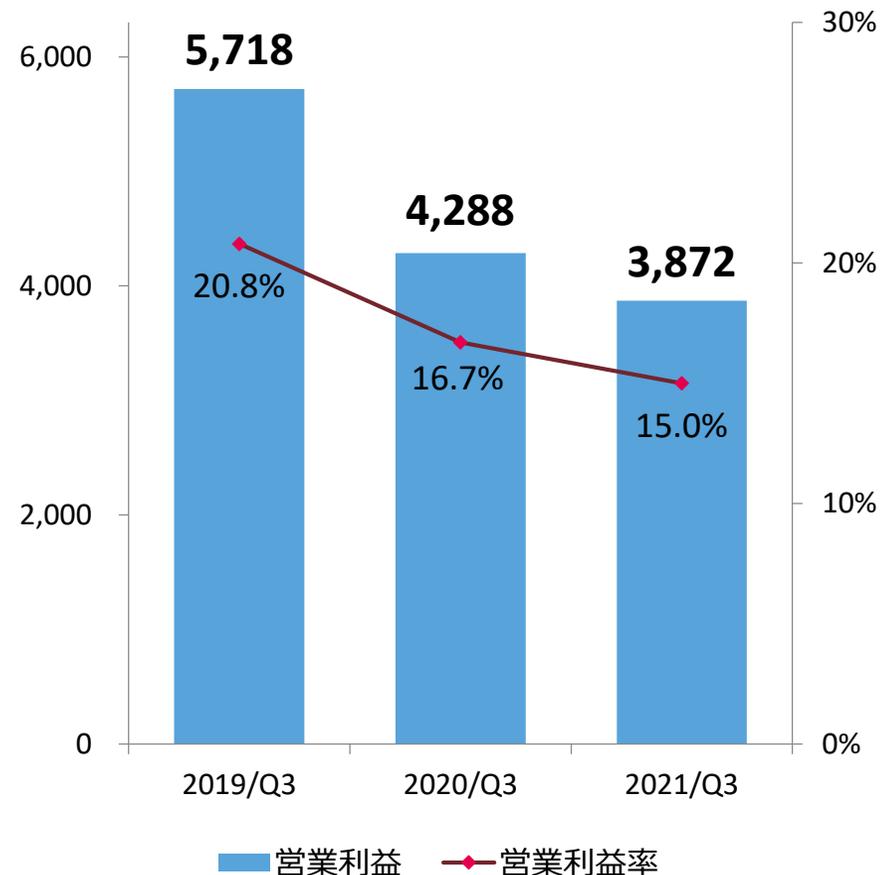
医薬品開発支援（CRO）事業



【売上高（百万円）】



【営業利益（百万円）】

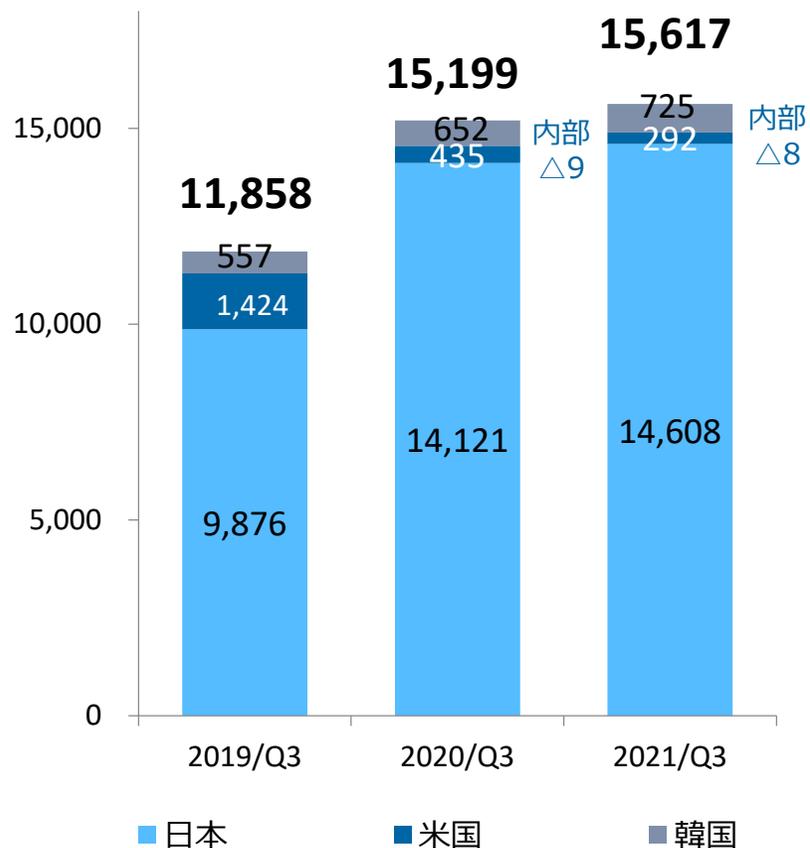


海外企業の日本市場参入や異業種のヘルスケア市場参入支援、高度化する開発ニーズ（バイオ医薬品等）への対応、非臨床から市販後までの一気通貫体制を活用し、医薬品開発のスピード最大化に取り組む。harmo®を用いた治験プロセス効率化や新たな治験様式の提案促進。売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期における臨床業務の受注が低調であった臨床業務が減少したものの、非臨床業務の伸長により前年同期を上回る。営業利益は、臨床業務の減収等により、前年同期を下回る。

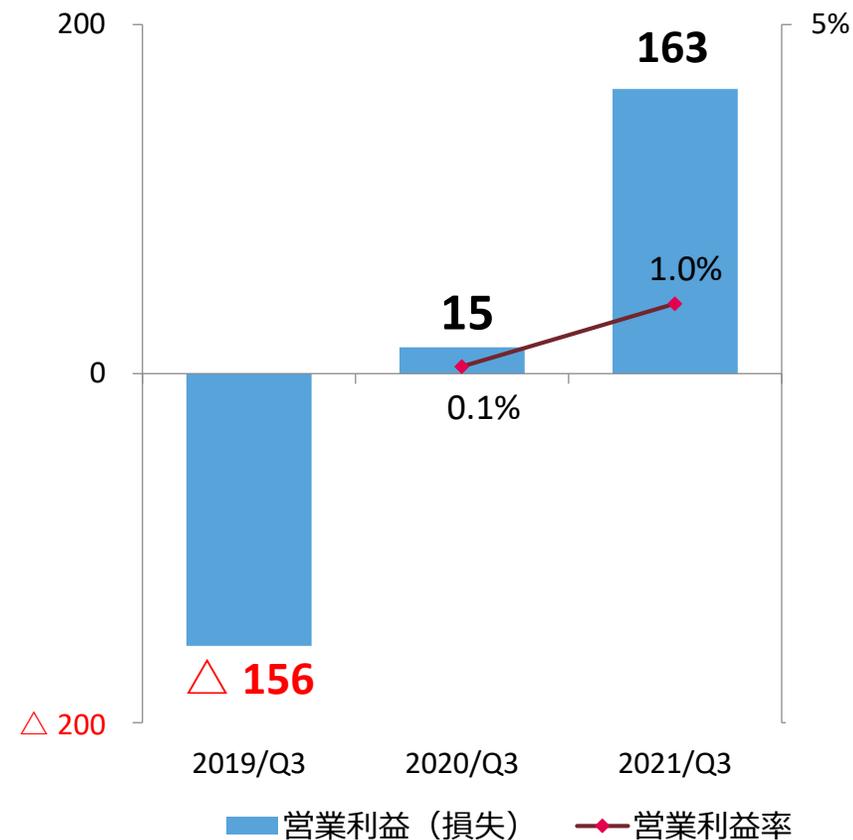
医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業



【売上高（百万円）】



【営業利益（百万円）】



製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで、グローバルに展開する医薬品製造のプラットフォームとして、技術力及び品質の更なる向上とローコスト生産体制の進展、戦略的な設備投資を通じた競争力強化を図る。

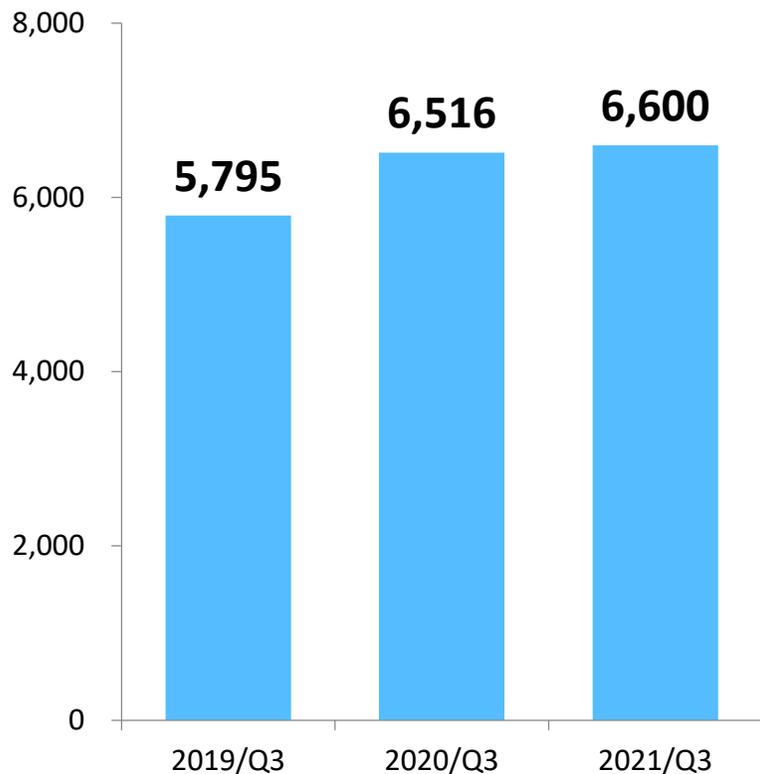
2022年9月期に生産開始が予定されている大型商用生産案件や米国における新たな施設・生産ラインの立ち上げ、新規案件の獲得に注力。売上高は、受託生産量の増加等により、前年同期を上回る。

営業利益は、バイオ医薬品原薬の製造受託ビジネスにかかる先行費用が発生したものの、増収の効果により、前年同期を上回る。

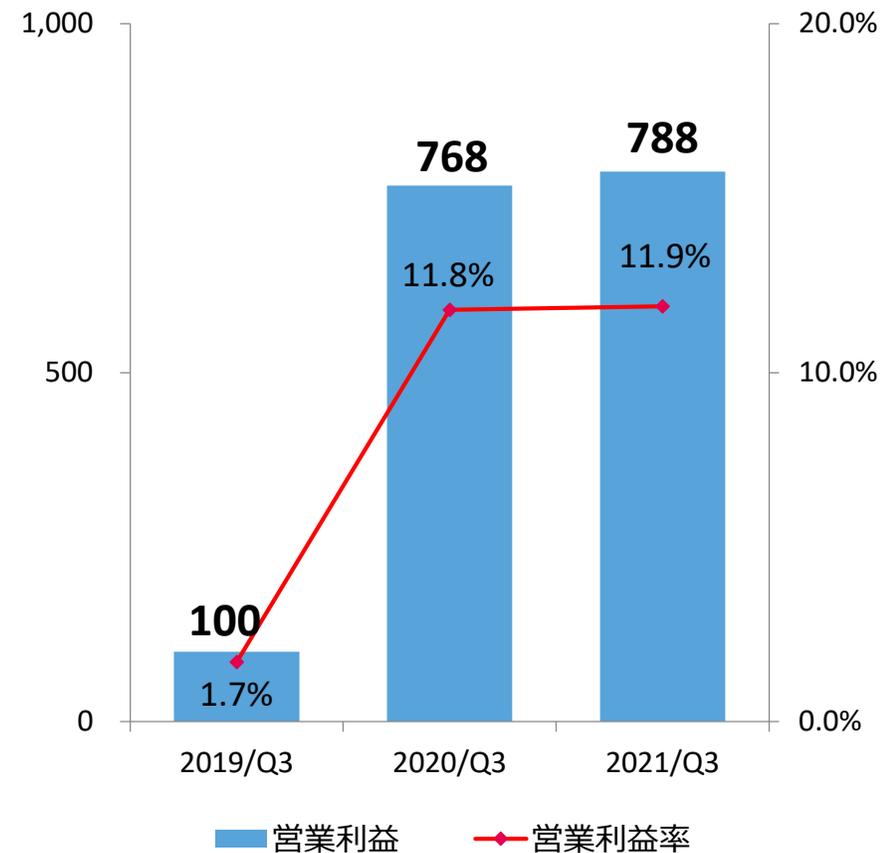
医薬品営業支援（CSO）事業



【 売上高（百万円）】



【 営業利益（百万円）】



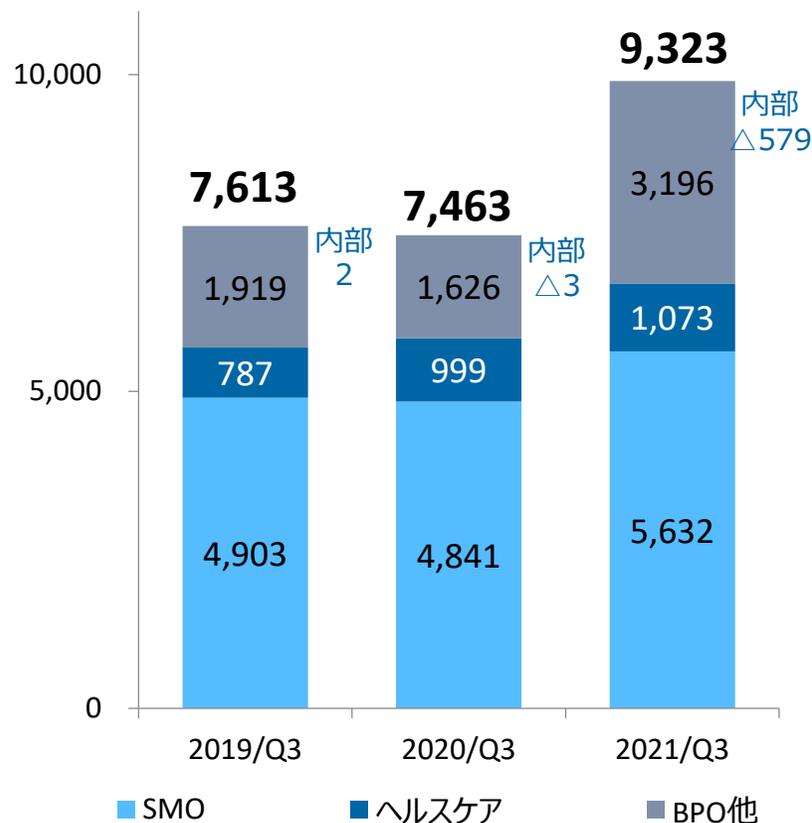
MR（医薬情報担当者）派遣業務や関連する新たなサービスに加え、メディカルアフェアーズ関連業務の営業活動を強化し、複数のコミュニケーションチャネルと多様なサービスを組み合わせた総合的なソリューションを提供。

売上高及び営業利益は、MR派遣業務における新規案件の獲得により、前年同期を上回る。

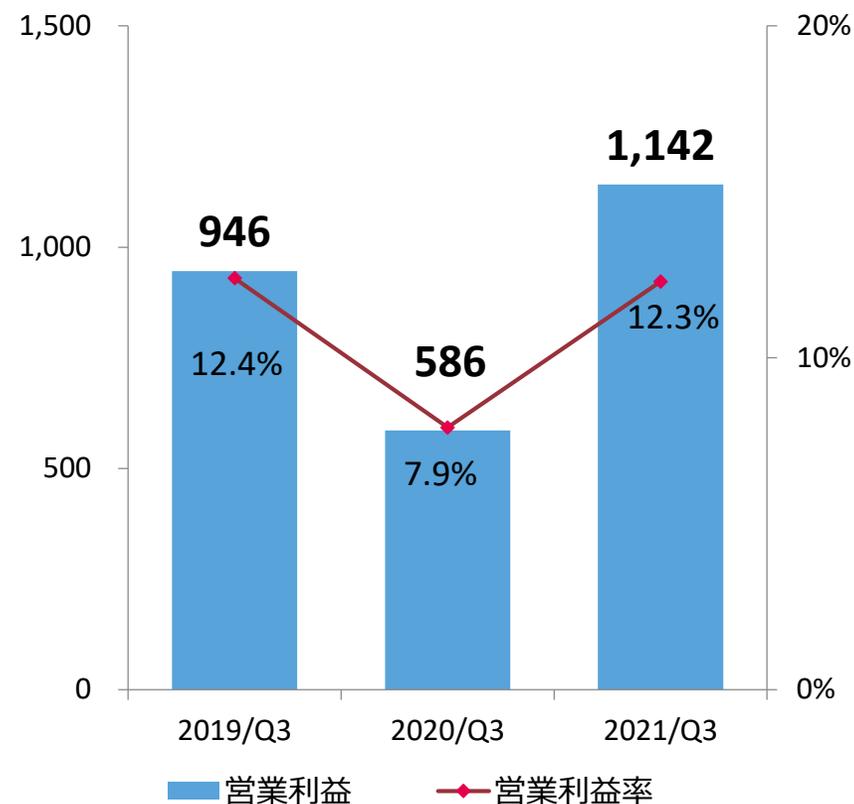
ヘルスケア事業



【 売上高 (百万円) 】



【 営業利益 (百万円) 】

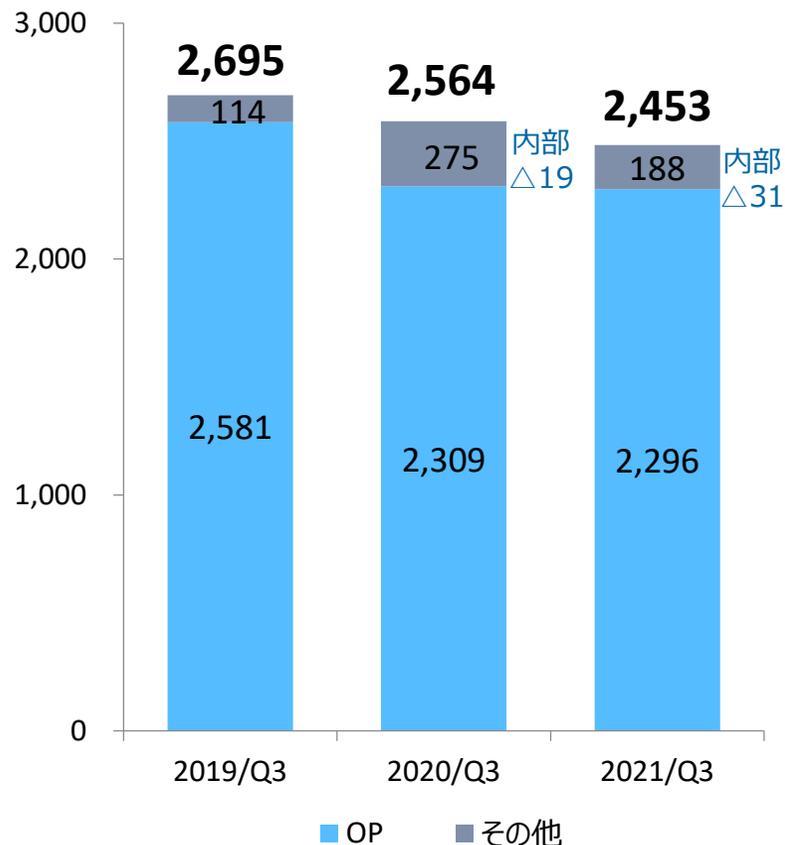


新型コロナウイルス感染症に対する有効な治療や予防手段の開発支援や、自治体によるPCR検査やワクチン接種支援に注力。Healthcare Communication Channel「harmo®」事業や、疾患の早期発見及び重症化予防に貢献するビジネスの創出に取り組む。売上高は、ワクチン接種支援に係るBPO・人材サービス及びSMO業務等が伸長したことから、前年同期を大幅に上回る。営業利益は、新たなヘルスケアビジネス創出のための先行投資を行ったものの、増収の効果により、前年同期を大幅に上回る。

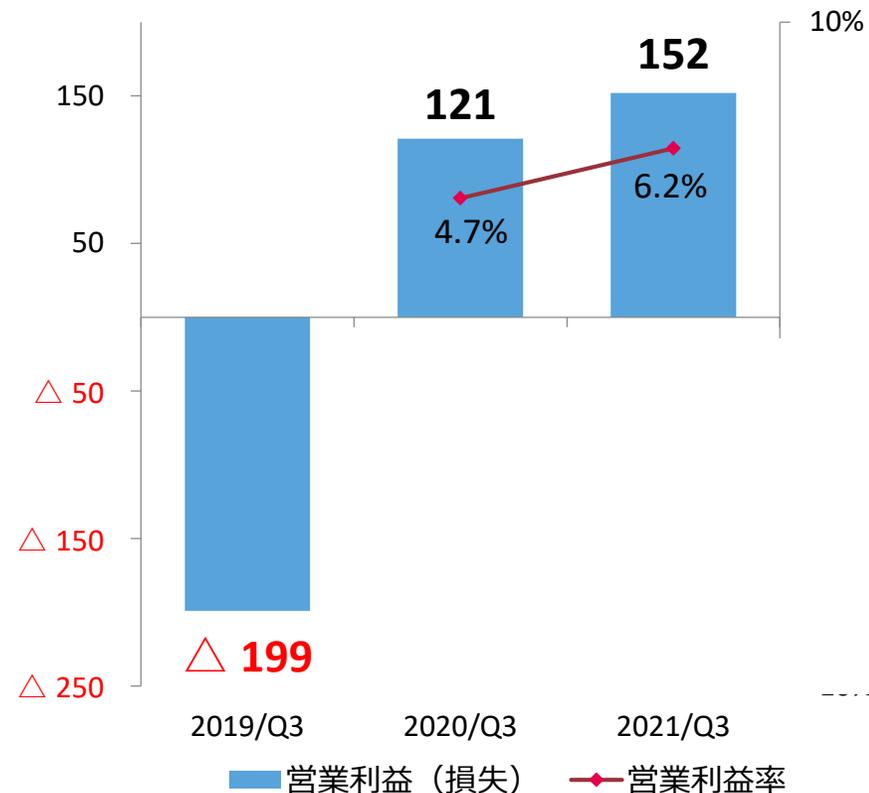
Innovative Pharma Model (IPM) 事業



【 売 上 高 (百万円) 】



【 営 業 利 益 (百万円) 】

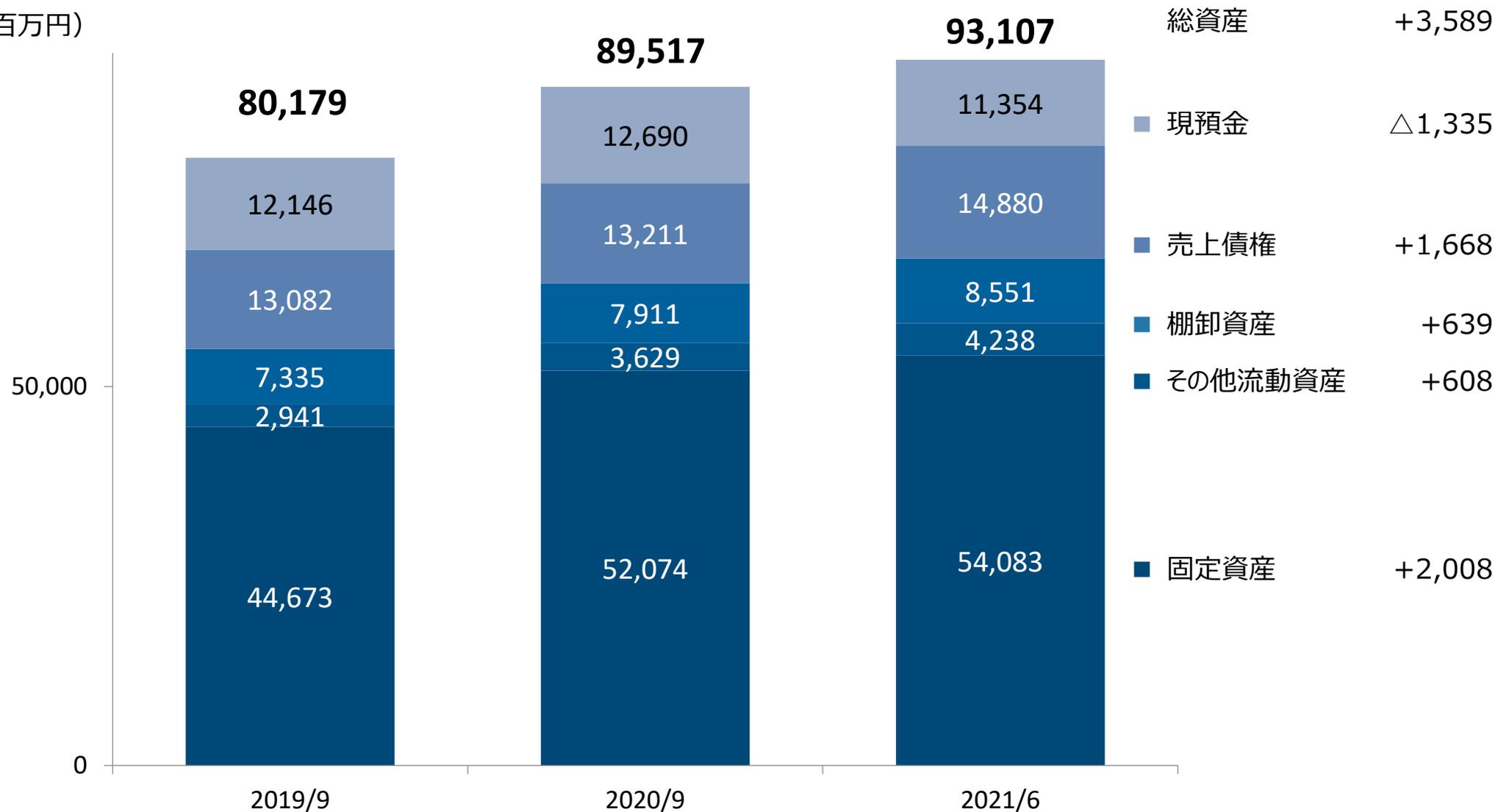


自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売のほか、IPMプラットフォーム提供を通じた海外製薬企業の日本市場進出支援や、製薬企業のビジネスモデル変化に応じた戦略オプションの提供等を行う。海外製薬企業からのIPMプラットフォームの活用ニーズが高まり、複数案件が進捗中。関与する製品 2 剤が、今年 1 月に承認を取得。売上高は、一部製品の販売量が減少したことにより前年同期を下回る。営業利益は、原価低減等により、前年同期を上回る。

連結貸借対照表（資産の部）



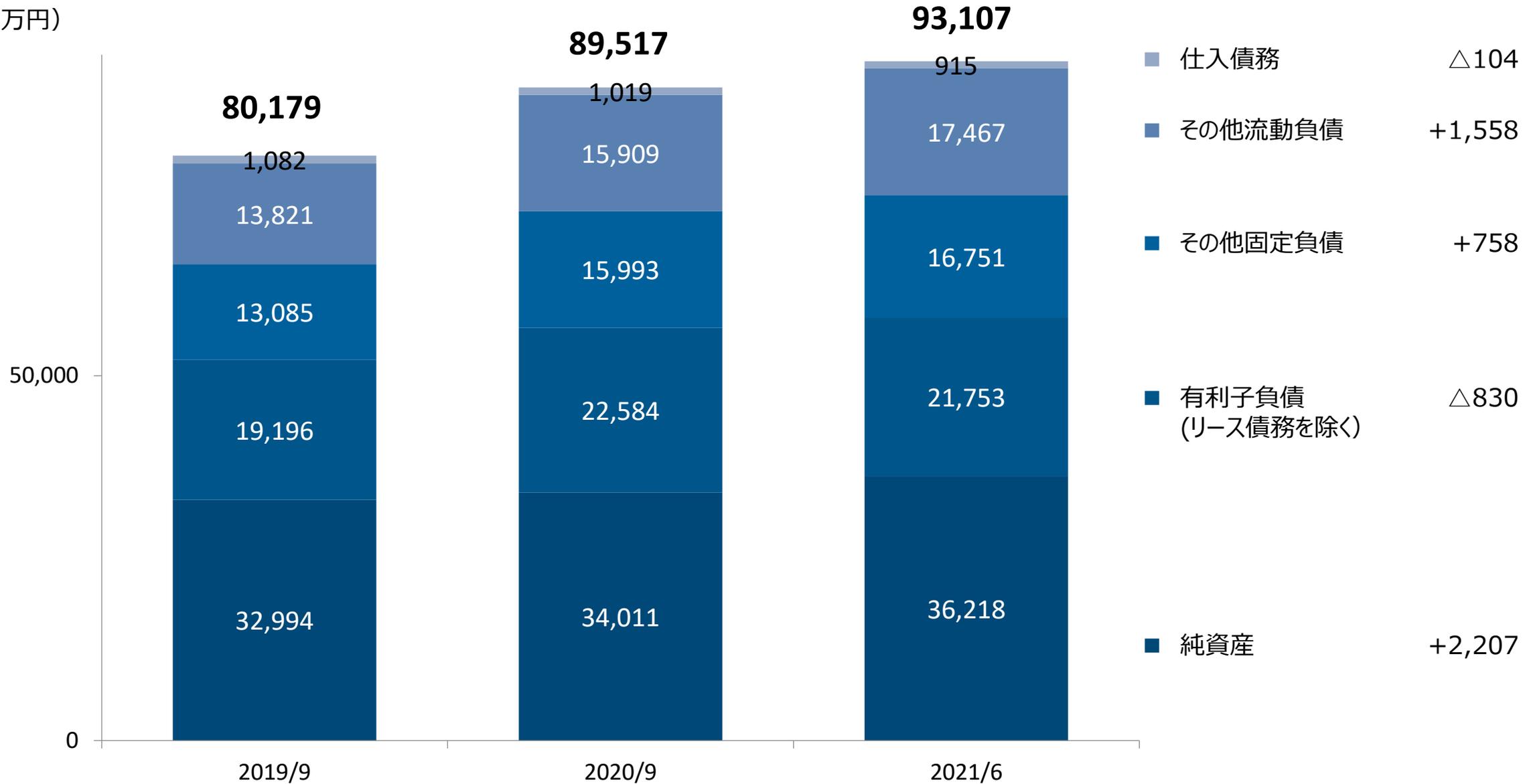
(百万円)



連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）



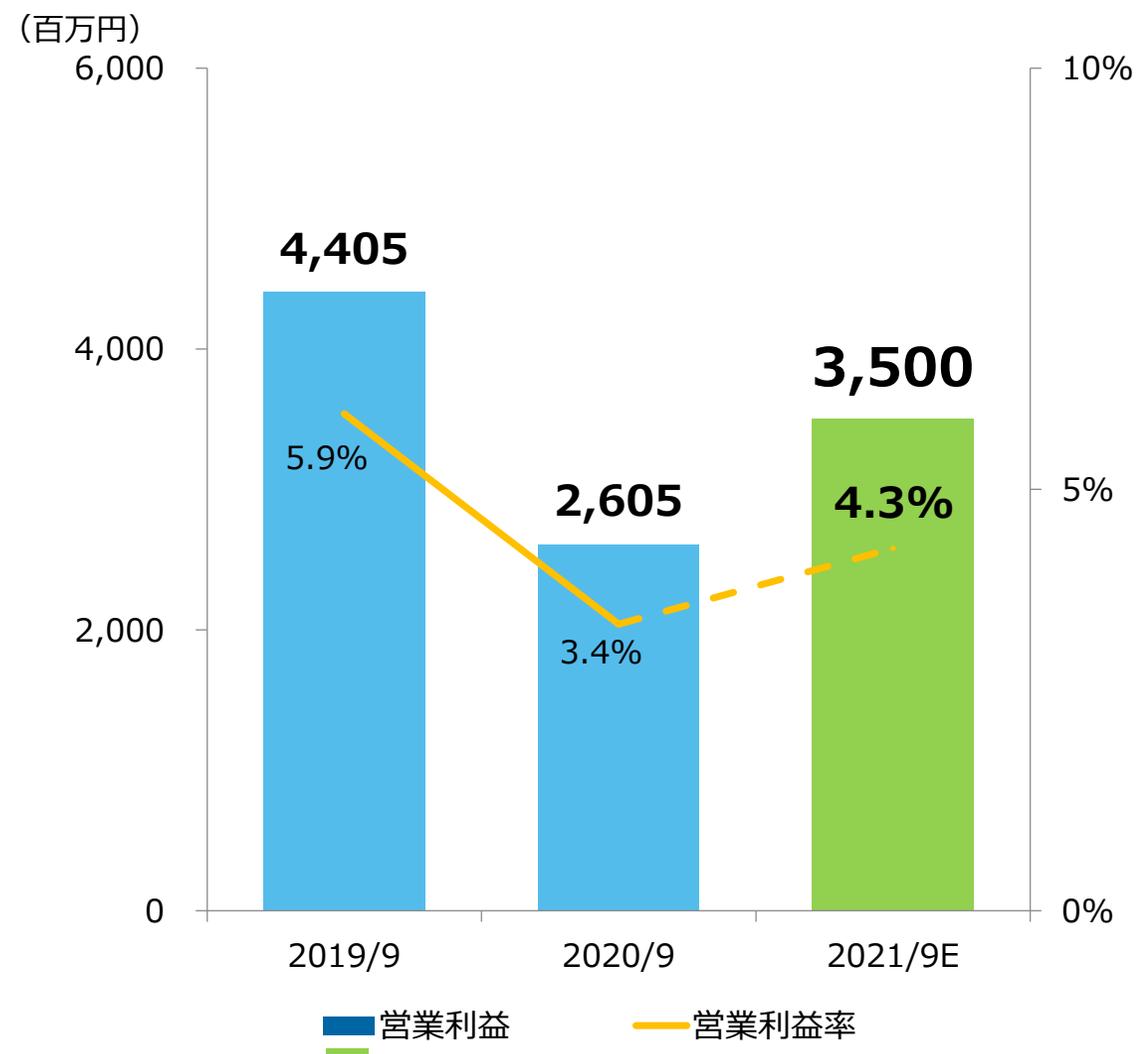
(百万円)



2021年9月期 通期見通し



	2020/9 実績 (百万円)	2021/9 当初計画 (百万円)	2021/9 修正見通し (百万円)	対当初計画 増減率 (%)
売上高	76,098	80,000	82,000	2.5
営業利益	2,605	3,300	3,500	6.1
経常利益	2,867	3,100	3,600	16.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,505	1,650	1,700	3.0
1株当たり当期純利益	83円27銭	91円21銭	93円97銭	





本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。